

2022年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2022年2月14日

上場会社名 アステリア株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3853 URL <https://www.asteria.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平野 洋一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員コーポレート本部長 (氏名) 齊藤 裕久 TEL 03-5718-1655
 四半期報告書提出予定日 2022年2月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有 機関投資家及び個人投資家向け

(百万円未満四捨五入)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	2,127	6.7	973	110.9	1,067	154.9	740	153.5	680	131.6	885	190.4
2021年3月期第3四半期	1,994	0.1	461	-	419	-	292	-	294	-	305	-

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	41.31	41.31
2021年3月期第3四半期	17.83	17.83

(注) 基本的及び希薄化後1株当たり四半期利益については、親会社の所有者に帰属する四半期利益の数値を基に算出しております。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	9,290	6,553	6,282	67.6
2021年3月期	7,907	5,721	5,544	70.1

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	-	0.00	-	4.50	4.50
2022年3月期	-	0.00	-	-	-
2022年3月期（予想）	-	-	-	-	-

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2022年3月期の期末の配当予想につきましては、現時点では未定としております。

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,900	7.9	3,400	314.8	3,400	231.5	2,000	147.7	121.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：有
- ③ 会計上の見積りの変更：有

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期3Q	17,491,265株	2021年3月期	17,491,265株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	704,445株	2021年3月期	704,611株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期3Q	16,469,019株	2021年3月期3Q	16,468,244株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足資料及び四半期決算説明会内容の入手方法）

当社は、以下の通りインターネットでの決算説明会を開催する予定です。使用する資料については、当社ウェブサイトに掲載する予定です。また、説明会の模様は、YouTube Liveによりライブ配信するほか、後日当社ウェブサイトで公開する予定です。

2022年2月14日（月） 18：00～

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書	7
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	8
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(会計方針の変更)	12
(会計上の見積りの変更)	12
(セグメント情報)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2021年4月～12月)における当社グループの業績は、売上収益については6.7%増の増収となり、利益については営業利益110.9%増、税引前四半期利益154.9%増、親会社の所有者に帰属する四半期利益131.6%増と大幅増益となりました。

売上収益については、欧米(特に米国と英国)において、未だに収まらない新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、デザイン事業が前年同期比で減収となったものの、「ASTERIA Warp」(アステリア ワープ)を主力製品とするソフトウェア事業が伸張したことが全体の売上収益を押し上げました。

利益については、中期経営計画「STAR」に沿った人員の拡充やマーケティング施策を実施したことにより、ソフトウェア事業は販売費及び一般管理費が増加したものの、投資事業による収益が増益の要因となりました。

《当社グループの取り組み》

当社グループでは、世界的な新型コロナウイルスの感染拡大防止に向けて積極的な対応を継続しております。中国以外の全ての拠点において、各国の感染状況に合わせ全社的なテレワークを継続するとともに、働く環境の多様化を推進することで、事業のスムーズな遂行と社員の感染予防を両立しています。

また、当社の製品/サービスにおいても、当社が主催する全てのイベント/セミナーをオンライン化して顧客企業の感染拡大防止に努めるとともに、個別の製品/サービスにおいて、顧客企業のクラウド化(Cloud)、自動化(Automation)、遠隔化(Remote)を支援するための数々の取り組みを実施しています。

当第3四半期連結累計期間における連結業績は以下のとおりです。

区分	前第3四半期	当第3四半期	増減率
売上収益	1,993,512千円	2,126,931千円	6.7%
営業利益	461,282千円	972,944千円	110.9%
税引前四半期利益	418,586千円	1,066,883千円	154.9%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	293,701千円	680,325千円	131.6%

《当社の報告セグメント》

当社の報告セグメントは、当社の経営資源の配分の決定及び業績の評価を行うための区分を基礎とし、「ソフトウェア事業セグメント」と「投資事業セグメント」の2つを報告セグメントとしています。「ソフトウェア事業セグメント」は、当社が創業来拡大している企業向けの「ソフトウェア事業」と、2017年に買収したThis Place社にて提供する「デザイン事業」の2つの事業で構成されます。「投資事業セグメント」は、2019年に開始したAstera Vision Fund Inc. で実施する企業投資事業で構成されます。

《ソフトウェア事業セグメント》

ソフトウェア事業セグメントは2つの事業で構成され、それぞれの売上状況は以下の通りです。

＜ソフトウェア事業＞

	前第3四半期	当第3四半期	前年同期比
売上収益	1,592,669千円	1,821,254千円	114.4%

「ASTERIA Warp」は、テレワークに対応した社内システムの構築や、改正電子帳簿保存法の施行に伴う新たな連携ニーズの拡大が継続していることから、製品シリーズ全体として販売が好調でした。特に、旗艦製品となるライセンス版の売上は30%を超える増収を記録するなど、ソフトウェア事業全体を牽引しています。

AI搭載IoT統合エッジウェア「Gravio」は、CO2を可視化し3密回避に対応するニーズが引き続き旺盛であったことと、販売パートナーとの協業による新たなビジネス機会の獲得等で約2倍の増収を記録しました。

モバイルアプリ作成ツール「Platio」は、現場のDX推進や業務アプリの内製化を実現するノーコード開発ツールとして各種プロモーション施策を展開した結果、地方自治体を含めた幅広い業界からの引き合いが好調です。また、2021年12月にデータ連携機能を搭載した「Platio Connect」のラインアップ追加を発表し、利用シーンを広げる機能強化も実施しました。

「Handbook」は社内業務のペーパーレス化ニーズが拡がり、既存顧客での利用拡大やオンラインミーティング用途等で堅調に推移しました。

＜デザイン事業＞

	前第3四半期	当第3四半期	前年同期比
売上収益	400,843千円	305,678千円	76.3%

世界的な新型コロナウイルス感染拡大による影響で、顧客企業におけるプロジェクト受注が減少しています。一部の既存顧客においては追加受注を獲得できたほか、新規顧客獲得に向けた動きを強化したものの、前年同期比で減収となりました。一方で、四半期単位では第3四半期は復調の兆しも見える結果となりました。

《投資事業セグメント》

投資事業セグメントは、2019年に開始したAstera Vision Fund I, L.P. (AVF-1)を通じた企業投資事業です。AVF-1は「4D戦略」(Data, Device, Decentralized, Design)に基づく投資を実施しており、その業績は、国際会計基準に基づき投資先の評価額の増減を計上しています。

	前第3四半期	当第3四半期	前年同期比
評価額の増減	－千円	694,818千円	－

第2四半期中に発生した、Gorilla Technology社(台湾)の評価増、Imagine Intelligent Material社(オーストラリア)の評価減に加えて、第3四半期中にはJPYC社(日本)において評価増が発生しました。なお、第3四半期中に公表したGorilla Technology社のNASDAQ上場計画については現時点ではその評価額を含んでいません。

※要約四半期連結損益計算書において、投資事業の評価額増減総額は「その他の収益」に含まれております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び資本の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間における資産合計は、9,289,504千円となり、前連結会計年度末に比べ1,382,061千円増加しました。この主な要因は、その他の金融資産868,374千円及び有形固定資産（主に使用権資産）324,352千円の増加によるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間における負債は、2,736,508千円となり、前連結会計年度末に比べ550,351千円増加しました。この主な要因は、繰延税金負債215,088千円、営業債務及びその他の債務216,227千円、その他の金融負債（主にリース負債）160,879千円の増加によるものです。

(資本)

当第3四半期連結会計期間における資本は、6,552,995千円となり、前連結会計年度末に比べ831,709千円増加しました。この主な要因は、その他の資本の構成要素154,292千円の増加及び利益剰余金586,337千円の増加によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より34,869千円増加し、2,486,296千円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は304,310千円（前年同期591,026千円の獲得）となりました。主に税引前四半期利益1,066,883千円の獲得、その他の収益734,018千円（主に投資有価証券の評価）の発生によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は47,477千円（前年同期431,060千円の使用）となりました。主に、投資の償還による収入400,063千円に対し、貸付けによる支出333,390千円及び投資の取得による支出111,140千円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は233,508千円（前年同期294,673千円の使用）となりました。主に配当金の支払額75,277千円及び長期借入金の返済による支出143,039千円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年1月13日開示の『有価証券評価益の計上および業績予想の修正に関するお知らせ』に記載のとおり、Gorilla Technology社のナスダック上場に伴い、2022年3月期において有価証券評価益約38億円が計上される見込みです。2022年2月14日時点において、同社の上場予定は2022年第2四半期（2022年4～6月）と公表されていますが、2022年1月13日開示の予想値は同社の上場時期の遅延を含めた想定されるリスクを一定程度織り込んでいるため、通期連結業績予想に変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	2,451,427	2,486,296
営業債権及びその他の債権	256,185	307,415
棚卸資産	—	438
その他の金融資産	—	345,060
その他の流動資産	79,766	138,887
流動資産合計	2,787,378	3,278,096
非流動資産		
有形固定資産	180,934	505,286
のれん	1,014,556	1,035,092
無形資産	69,088	81,820
持分法で会計処理されている投資	332,498	335,029
その他の金融資産	3,380,190	3,903,504
その他の非流動資産	142,800	150,676
非流動資産合計	5,120,065	6,011,408
資産合計	7,907,443	9,289,504

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
借入金	242,800	242,800
営業債務及びその他の債務	182,417	398,644
未払法人所得税等	99,305	68,987
その他の金融負債	64,400	45,354
その他の流動負債	624,462	724,406
流動負債合計	1,213,385	1,480,191
非流動負債		
引当金	16,500	9,335
借入金	643,000	535,900
繰延税金負債	101,370	316,459
その他の金融負債	210,165	390,090
その他の非流動負債	1,737	4,535
非流動負債合計	972,773	1,256,318
負債合計	2,186,157	2,736,508
資本		
資本金	2,275,343	2,275,343
資本剰余金	2,452,226	2,455,485
自己株式	△532,437	△537,643
その他の資本の構成要素	△138,219	16,073
利益剰余金	1,486,814	2,073,151
親会社の所有者に帰属する持分合計	5,543,727	6,282,409
非支配持分	177,559	270,587
資本合計	5,721,286	6,552,995
負債及び資本合計	7,907,443	9,289,504

(2) 要約四半期連結損益計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上収益	1,993,512	2,126,931
売上原価	373,524	342,258
売上総利益	1,619,988	1,784,674
販売費及び一般管理費	1,206,424	1,539,197
その他の収益	48,212	734,018
その他の費用	493	6,551
営業利益	461,282	972,944
金融収益	39,540	105,395
金融費用	83,429	6,201
持分法による投資損益(△損失)	1,193	△5,256
税引前四半期利益	418,586	1,066,883
法人所得税費用	126,605	326,595
四半期利益	291,981	740,287
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	293,701	680,325
非支配持分	△1,720	59,962
四半期利益	291,981	740,287
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	17.83	41.31
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	17.83	41.31

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期利益	291,981	740,287
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融 資産	△31,472	71,419
純損益に振り替えられることのない項目合計	△31,472	71,419
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	44,216	73,128
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	44,216	73,128
その他の包括利益合計	12,744	144,547
四半期包括利益	304,725	884,834
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	312,814	815,978
非支配持分	△8,089	68,856
四半期包括利益	304,725	884,834

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

親会社の所有者に帰属する持分

	その他の資本の構成要素					合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	在外営業活動体の換算差額	その他の	
					包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	
千円	千円	千円	千円	千円	千円	
2020年4月1日時点の残高	2,275,343	2,474,701	△537,645	△70,536	△179,778	△250,314
四半期利益	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	50,585	△31,472	19,112
四半期包括利益合計	—	—	—	50,585	△31,472	19,112
配当金	—	—	—	—	—	—
自己株式の取得	—	—	△6,032	—	—	—
自己株式の処分	—	△3,443	12,857	—	—	—
株式に基づく報酬取引	—	2,357	—	—	—	—
非支配持分との取引	—	△12,219	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	△13,305	6,824	—	—	—
2020年12月31日時点の残高	2,275,343	2,461,395	△530,821	△19,951	△211,250	△231,201

親会社の所有者に帰属する持分

	親会社の所有者に帰属する持分		非支配持分	資本合計
	利益剰余金	合計		
	千円	千円	千円	千円
2020年4月1日時点の残高	758,336	4,720,420	151,115	4,871,535
四半期利益	293,701	293,701	△1,720	291,981
その他の包括利益	—	19,112	△6,369	12,744
四半期包括利益合計	293,701	312,814	△8,089	304,725
配当金	△67,166	△67,166	—	△67,166
自己株式の取得	—	△6,032	—	△6,032
自己株式の処分	—	9,413	—	9,413
株式に基づく報酬取引	—	2,357	—	2,357
非支配持分との取引	△11,704	△23,923	△2,107	△26,030
所有者との取引額合計	△78,870	△85,351	△2,107	△87,458
2020年12月31日時点の残高	973,167	4,947,883	140,919	5,088,802

親会社の所有者に帰属する持分

	その他の資本の構成要素					
	資本金	資本剰余金	自己株式	在外営業 活動体の 換算差額	その他の 包括利益を 通じて公正 価値で測定 する金融資産	合計
2021年4月1日時点の残高	2,275,343	2,452,226	△532,437	119,415	△257,634	△138,219
四半期利益	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	64,234	71,419	135,653
四半期包括利益合計	—	—	—	64,234	71,419	135,653
配当金	—	—	—	—	—	—
自己株式の取得	—	—	△4,971	—	—	—
自己株式の処分	—	63	△234	—	—	—
株式に基づく報酬取引	—	3,196	—	—	—	—
非支配持分との取引	—	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金 への振替	—	—	—	△643	19,281	18,639
その他	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	3,259	△5,206	△643	19,281	18,639
2021年12月31日時点の残高	2,275,343	2,455,485	△537,643	183,007	△166,934	16,073

親会社の所有者に帰属する
持分

	利益剰余金		非支配持分	資本合計
	利益剰余金	合計		
	千円	千円	千円	千円
2021年4月1日時点の残高	1,486,814	5,543,727	177,559	5,721,286
四半期利益	680,325	680,325	59,962	740,287
その他の包括利益	—	135,653	8,894	144,547
四半期包括利益合計	680,325	815,978	68,856	884,834
配当金	△75,639	△75,639	—	△75,639
自己株式の取得	—	△4,971	—	△4,971
自己株式の処分	—	△171	—	△171
株式に基づく報酬取引	—	3,196	—	3,196
非支配持分との取引	—	—	24,171	24,171
その他の資本の構成要素から利益剰余金 への振替	△18,639	—	—	—
その他	290	290	—	290
所有者との取引額合計	△93,988	△77,296	24,171	△53,125
2021年12月31日時点の残高	2,073,151	6,282,409	270,587	6,552,995

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	418,586	1,066,883
減価償却費及び償却費	139,005	131,040
金融収益	△39,540	△105,395
金融費用	83,386	6,201
持分法による投資損益(△は益)	△1,193	5,256
その他の収益	△48,212	△734,018
その他の費用	493	6,551
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	15,206	△47,121
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	△15,063	75,566
その他	104,277	61,030
小計	656,946	465,992
利息及び配当金の受取額	12,681	12,085
利息の支払額	△3,125	△5,537
法人所得税の支払額	△75,476	△168,229
営業活動によるキャッシュ・フロー	591,026	304,310
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△14,482	△62,529
有形固定資産の売却による収入	365	108
貸付けによる支出	—	△333,390
無形資産の取得による支出	△318	—
投資の取得による支出	△406,930	△111,140
関係会社株式の売却による収入	—	33,667
投資の償還による収入	—	400,063
その他	△9,696	25,743
投資活動によるキャッシュ・フロー	△431,060	△47,477
財務活動によるキャッシュ・フロー		
非支配持分からの払込による収入	2,132	23,541
長期借入金の返済による支出	△107,100	△143,039
非支配持分からの子会社持分取得による支出	△22,029	—
リース負債の返済による支出	△100,813	△38,733
配当金の支払額	△66,864	△75,277
財務活動によるキャッシュ・フロー	△294,673	△233,508
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△134,707	23,325
現金及び現金同等物の期首残高	2,477,322	2,451,427
現金及び現金同等物の為替変動による影響	44,807	11,543
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,387,421	2,486,296

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した会計方針と同一です。

なお、当第3四半期連結累計期間の法人所得税費用は、見積年次実効税率を基に算定しております。当社グループは、第1四半期連結会計期間より、以下の基準を適用しております。

IFRS	新設・改訂の概要	
IFRS第16号	リース	COVID-19に関連した2021年6月30日以降の賃料減免に関する会計処理を改訂

本改訂は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大の直接的な結果として賃料減免を受けたリースの借手に対して、簡便的な会計処理を選択することを認めるものであり、2021年3月の改訂により適用期間が延長されております。

当社グループは、上記の要件を満たす賃料減免について本便法を前連結会計年度より引き続き適用しております。また、本便法の適用により当第3四半期連結累計期間における影響はありません。

(会計上の見積りの変更)

当社グループは、リモートワーク主体の勤務体系に働き方を変えており、第1四半期連結累計期間において、当社グループが賃借するオフィスの一部を解約することを決定いたしました。

一部解約通知に伴い、将来のリース料、解約オプションの行使に関する判定等について変動が生じるため、リース負債の再測定を行っております。その結果、当第3四半期連結累計期間においてリース負債が57,972千円、使用権資産が33,916千円減少するとともに、営業利益及び税引前四半期利益が24,050千円増加しております。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当企業集団の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、「ソフトウェア事業」および「投資事業」の2つを報告セグメントとし、2つの事業を基礎として組織が構成されております。

「ソフトウェア事業」には、当社が創業来拡大している企業向けの「ソフトウェア事業」と「デザイン事業」の2つの事業で構成されます。

「投資事業」は、米国に拠点を置く100%子会社Asteria Vision Fund Inc.が管理する投資で構成されております。

(2) 報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失、及び資産の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結
	ソフトウェア事業	投資事業	計		
	千円	千円	千円		
売上収益					
外部収益	1,993,512	-	1,993,512	-	1,993,512
セグメント間収益	48	19,102	19,149	△19,149	-
合計	1,993,560	19,102	2,012,661	△19,149	1,993,512
セグメント利益(△損失) (注) 2	426,239	△13,074	413,166	398	413,564
その他の収益及び費用					47,718
金融収益					39,540
金融費用					83,429
持分法による投資損益					1,193
税引前四半期利益					418,586
その他の項目					
減価償却費及び償却費	138,852	153	139,005	-	139,005

(注) 1. 「調整額」は、主としてセグメント間取引消去額を表示しております。

2. セグメント利益(△損失)は、売上収益から売上原価及び販売費及び一般管理費を控除しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結
	ソフトウェア事業	投資事業	計		
	千円	千円	千円		
売上収益					
外部収益	2,126,931	-	2,126,931	-	2,126,931
セグメント間収益	50	20,000	20,050	△20,050	-
合計	2,126,981	20,000	2,146,981	△20,050	2,126,931
セグメント利益(注) 2	266,904	673,233	940,136	158	940,295
その他の収益及び費用					32,650
金融収益					105,395
金融費用					6,201
持分法による投資損益(△損失)					△5,256
税引前四半期利益					1,066,883
その他の項目					
減価償却費及び償却費	130,776	264	131,040	-	131,040

(注) 1. 「調整額」は、主としてセグメント間取引消去額を表示しております。

2. セグメント利益は、売上収益から売上原価及び販売費及び一般管理費を控除しておりますが、その他の収益及び費用のうち、Astera Vision Fund I, L.P. で保有する純損益を通じて公正価値で測定する金融資産に関する評価損益は投資事業のセグメント利益に振り替えております。